

科目名	戦略情報論特講	担当者	カワナカ 川中 ケイイチ 敬一	期間	通年	単位数	4
-----	---------	-----	--------------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	<p>本講座は、ある目的を有する行動の包括的方針たる戦略策定に必須となる情報の意義と扱い方に関する知識を修得することにより、以下の能力を取得することを目的とします。なお、本講座では、軍事・外交戦略情報を題材とします。</p> <p>① 世界諸国の歴史や政治、文化、価値観、信条、技術等の社会的現状及び相互関係を総合的かつ比較的に理解し、国際社会が直面している問題の解決策を提案することができる。</p> <p>② 仮説に基づく課題や問題を提示し、客観的情報に基づく論理的・批判的な考察を通じ、課題に対し具体的かつ論理整合的な見解を示すとともに、その限界を認識することができる。</p> <p>③ 学修状況の自己分析に基づく評価を、今後の学修に活かすことができる。</p>		
到達目標	<p>【一般目標 (GIO)】</p> <p>学修者は、行動を成功に誘導する前提となる包括的総方針たる戦略を構築し、戦略の成否を決定する社会現象の現状を正確に認識する基盤たる情報を駆使できるようになるために、戦略における情報の意義を知悉することにより、両者を巧妙に駆使するに必要な素養を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>① 学修者が、『孫子』を通じて普遍の戦略における情報の意義を説明することができる。(知識)</p> <p>② 学修者が、国際安全保障を具体例として、戦略における情報の扱い方を修得できる。(技能)</p> <p>③ ①及び②により修得した知識と技能をもって、自己を取り巻く社会現象における戦略構築と情報の正しい扱いを駆使するよう意識する。(態度)</p>		
学修方略 (方法)	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>① 指定図書及び参考図書の読書と課題答申草案を作成する。</p> <p>② manaba- folio のコレクション利用によるインタラクティブな個別指導を受ける。</p> <p>【学修方略 (LS) と学修時間】</p> <p>① 指定図書及び参考図書読書(20 時間)を通じたりポート作成による意志決定と行動に必須な戦略・情報の相関関係の標準理解を構築(10 時間)。</p> <p>② 自己が構築した標準の適用による付与された課題の意義を評価(5 時間)。</p> <p>③ 個別指導を通じた自己構築標準理解の深化及び実用性向上(10 時間)。</p>		
スケジュール	前期	<p>初稿提出期限：7 月 30 日 21:00</p> <p>最終提出期限：最終稿の提出期限は学事歴に従う。</p>	
	後期	<p>初稿提出期限：11 月 25 日 21:00</p> <p>最終提出期限：最終稿の提出期限は学事歴に従う。</p>	
成績評価	種別	割合	評価基準
	レポート	80%	<p>① 戦略に寄与する情報という構図を維持しているか。</p> <p>② 結論と導出過程が簡明に接続しているか。</p> <p>③ 引用・参照を適切かつ正確に記述したか。</p>
	観察記録	20%	<p>① 不明点を早期かつ率直に質問したか。</p> <p>② 指導に対する真摯な受容と積極的再検討を行ったか。</p> <p>③ 指定図書及び参考図書以外の資料も自発的に駆使したか。</p>
履修者への要望	<p>① 国際政治関連を学ぶ学生は無論、経営・経済を学ぶ学生にこそ履修を強く推奨します。安易に使用されがちな「戦略」と「情報」という概念の根源的峻厳さを知悉することは、経営・経済活動において、必ずや大きな参考となるでしょう。</p> <p>② 基本教材 1 は、反復読書を推奨します。そして、本書が、なぜ時空を超越して読み継がれているのかを熟考してみてください。</p> <p>③ 基本教材 2 は、外国との“距離”が著しく短縮され、多方面にわたって接続している現代のあらゆる活動に、軍事問題が深く関わっていることを意識しながら読書してみてください。</p> <p>④ 基本教材 1 により修得した戦略と情報の関係における原則を、現実の国際安全保障でいかに具現化されているかを基本教材 2 において意識しながら学修するよう心掛けてください。</p> <p>⑤ 戦略や情報という概念は、私心を排除した“公”のために活用されるべきものであることを感得してください。</p> <p>⑥ 履修登録と同時に、担当教員へ履修した旨を連絡してください。 kawanaka.keiichi@nihon-u.ac.jp</p>		

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	著者名： 浅野裕一 教材名： 『孫子』（講談社学術文庫, 1997年）ISBN:978-4-061-59283-4/1,000円＋税
	本書は、約2,500前から、アジア圏にとどまらない全世界で今日まで読み継がれている不滅の戦略指南書である。主として、戦略に関わる不変の鉄則が一貫して記述されています。同時に、随所に軍事的決心・行動（戦略的思考・判断・行動）を成功に結実させるに必要な情報の種類と扱い方の真髓が述べられています。更には、政治（集団最高意志決定層）と軍事（実務活動層）との関係のあり方、将軍（行動責任者）の資質にまで言及されています。本書を通じて、行動の包括的方針たる戦略と、その正当性の根拠となる情報とのあるべき関係を感じ得るでしょう。
参考図書	①浅野祐吾『軍事思想史入門』（原書房, 2010年）ISBN:978-4-56204-566-2/3,200円＋税 ②金澤治『老子』（講談社学術文庫, 1997年）ISBN:978-4-06159-278-0/1,010円＋税 ③村井友秀『戦略論大系⑦毛沢東』（芙蓉書房出版, 2004年）ISBN:978-4-82950-308-9/3,800円＋税 ④海洋政策研究財団『中国の海洋進出』（成山堂書店, 2013年）ISBN:978-4-425-53151-6/2,400円＋税
履修上のポイント	課題答申に関する基本教材及び参考図書を読むに当たり、以下の点に留意してください。 ①情報には、多くの分野・種類があることに留意してください。 ②戦略（包括的方針）に情報が重要な作用を及ぼす理由に留意してください。 ③戦略も情報も、人間の問題によって有効性が大きく左右されることに留意してください。 ④君主（集団最高意志決定者）と将軍（行動責任者）とのあるべき関係と資質に留意してください。 ⑤将軍（行動責任者）による将兵（実行者）の統帥における要訣は何か留意してください。 ⑥孫子とともに、毛沢東軍事思想を是非とも関連づけて読んでください。
レポート課題 1	「孫子の軍事思想における戦略策定・実行と情報との関連を示す箇所を要旨と共に列挙せよ」（3,000～4,000字）  <b>留意点：</b> 戦略情報と戦術情報、そして、情報活動の3側面から考察してください。
レポート課題 2	「孫子の軍事思想における戦略・情報と統率との関係を考察せよ」（3,000～4,000字）  <b>留意点：</b> 戦略も情報も、君主、将軍と兵士という人間の問題により、その効力が大きく異なることに留意してください。

基本教材 2	
教材の概要	著者名： ジョン・ベイリス、ジェームズ・ウィルツ、コリン・グレイ 教材名： 『戦略論』（勁草書房, 2012年）ISBN:978-4-326-30211-6/2,800円＋税
	本書は、戦略の基本概念を知るうえでの英語圏における入門書の邦訳版ですが、最終章で戦略と情報との関係の説明が盛り込まれ、欧米が理解する戦略と情報との基本概念の理解の一助となるでしょう。
参考図書	①北岡元『インテリジェンスの歴史－水晶玉を覗こうとする者たち』（慶應義塾大学出版会, 2008年）ISBN:4-7664-1300-8/2,500円＋税 ②北岡元『インテリジェンス入門－利益を実現する知識の創造』（慶應義塾大学出版会, 2009年）ISBN:978-4-7664-1662-4/2,400円＋税
履修上のポイント	課題答申に関する基本教材及び参考図書を読むに当たり、以下の点に留意してください。 ①戦略が、科学（Science）ではなく術（Art）と定位される意味に留意してください。 ②戦略情報には、どのような分野（要素）が必須であるかに留意してください。 ③「孫子兵法」と比較し、文化に関係なく必須とされる戦略情報要素は何か留意してください。 ④「孫子兵法」との差異が生じる原因に留意してください。
レポート課題 1	「戦略策定及び修正に当たって必要とされる情報に関して、収集・分析を必須とする分野を理由とともに列挙せよ」（3,000～4,000字）  <b>留意点：</b> 軍事の活動実態と空間的特性は何か注目してみてください。
レポート課題 2	「孫子兵法と英語圏との戦略情報に関し、共通点と相違点をそれぞれの要旨とともに考察せよ」（3,000～4,000字）  <b>留意点：</b> 人間に関わる要素に特に注目してみてください。

### 基本教材 1

第 1 回	課題の意図を熟考する。教材の“解説（261 頁以降）”に基づく学修①（孫子兵法の全体像）を実施する。
第 2 回	教材の「計篇」及び「作戦篇」に基づく学修②を実施する。
第 3 回	教材の「謀攻篇」に基づく学修③を実施する。
第 4 回	教材の「形篇」及び「勢篇」に基づく学修④を実施する。
第 5 回	教材の「虚实篇」及び「軍争篇」に基づく学修⑤を実施する。
第 6 回	教材の「九変篇」及び「行軍篇」に基づく学修⑥を実施する。
第 7 回	教材の「地形篇」に基づく学修⑦を実施する。
第 8 回	教材の「九地篇」に基づく学修⑧を実施する。
第 9 回	教材の「用間篇」及び「火攻篇」に基づく学修⑨を実施する。
第 10 回	教材全体に基づく学修⑩（戦争の意義、政軍関係、処理すべき情報分野に関する考察）を実施する。
第 11 回	教材全体に基づく学修⑪（戦争における人間に関わる問題処理）を実施する。
第 12 回	レポート課題 1 及び 2 の考察結果を初稿として提出する。
第 13 回	レポート課題 1 及び 2 の初稿に対する教員からの指導を受け、それに基づき初稿の内容を再考する。
第 14 回	レポート課題 1 及び 2 の再考結果と各課題の意図との整合性を確認する。
第 15 回	レポート課題 1 及び 2 の最終結果を提出する。

### 基本教材 2

第 1 回	課題の意図を熟考する。教材の序章及び第 1 章に基づく学修①（戦略と戦争の概要）を実施する。
第 2 回	教材の第 2 章に基づく学修②（近代戦争と戦略）を実施する。
第 3 回	教材の第 3 章に基づく学修③（代表的戦略理論）を実施する。
第 4 回	教材の第 4 章に基づく学修④（戦略文化）を実施する。
第 5 回	教材の第 6 章に基づく学修⑤（戦略の地理的要素）を実施する。
第 6 回	教材の第 7 章に基づく学修⑥（戦略の技術的要素）を実施する。
第 7 回	教材の第 8 章に基づく学修⑦（戦略とインテリジェンス）を実施する。
第 8 回	基本教材 1 に基づく学修⑧（孫子兵法における情報の理解と扱い方）を実施する。
第 9 回	基本教材 2 に基づく学修⑨（欧米戦略理論における情報の理解と扱い方）を実施する。
第 10 回	基本教材 1 及び 2 に基づく学修⑩（孫子と欧米における戦略情報の理解と扱い方の比較）を実施する。
第 11 回	学修⑩に基づく学修⑪（孫子と欧米の相違発生の原因に関する考察）を実施する。
第 12 回	レポート課題 1 及び 2 の考察結果を初稿として提出する。
第 13 回	レポート課題 1 及び 2 の初稿に対する教員からの指導を受け、それに基づき初稿の内容を再考する。
第 14 回	レポート課題 1 及び 2 の再考結果と各課題の意図との整合性を確認する。
第 15 回	レポート課題 1 及び 2 の最終結果を提出する。